



くじ

市議会だより

第11号

2008年
(平成20年)
8月1日発行



議長に就任し挨拶をする宮澤新議長（手前）

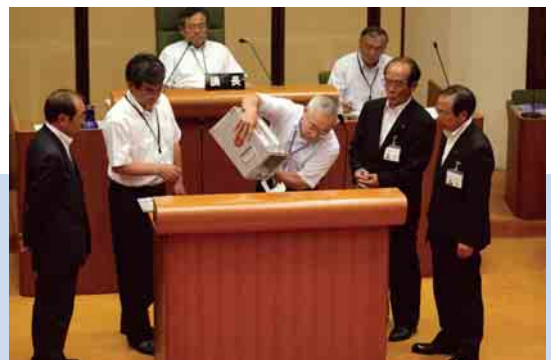
新議長に宮澤憲司議員を選出 6月定例会で議長の辞任に伴い議長選挙を実施

第9回定例会市議会は、6月13日から24日までの12日間開かれました。6月定例会では、下斗米議員の議長辞職を許可し議長選挙が行われ、新議長に宮澤憲司議員が就任しました。また、各会派を代表して4人、個人で3人の議員が市政の諸問題について一般質問を行いました。平成20年度一般会計補正予算など市長提出議案2件、議員発議案3件についての審査経過を紹介します。

就任あいさつ

議長 宮澤 憲 司

このたび、議員の皆様方のご推挙によりまして、市議会議長の要職に就くことになりましたことは、まことに身に余る光栄であり、衷心より厚く感謝を申し上げますとともに、その責任の重さを一層痛感いたしている次第でございます。もとより浅学非才の身ではありますが、本市の発展と市民福祉の向上のため誠心誠意努力をいたす覚悟でございます。今後とも皆様の温かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。



議長選挙の様子

主な内容

- 市議会を読む 6月定例会 …… 2
- 一般質問 …… 3～9
- 意見書／傍聴席からひとこと …… 10

市議会を読む

◎第9回6月定例市議会

補正予算

●平成20年度一般会計補正予算(第1号)

一般会計補正予算は、1億1275万7千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ192億660万5千円とするもので、原案のとおり可決されました。

主な事業と予算額は次のとおりです。

●元気なコミュニティ倍増計画モデル調査事業費

繫地区の地域活性化ワークショップの開催等経費 34万9千円

●コミュニティ助成事業補助金 町内会への除雪機等の備品購入に対する補助 570万円

●障害者自立支援事業費 障害者の地域生活移行に関する基礎研修等経費 200万8千円

●漁港整備事業費 桑畑漁港の整備等 4000万円

●センターハウス平庭山荘改修事業費 設計業務等委託料 133万9千円

●木造住宅耐震改修工事助成事業費 耐震改修工事実施者に対する補助 62万円

●街路整備事業費 5100万円

●平庭高原スキー場維持管理費 スキー場リフト整備費 356万円

条例等

●消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 消防団員確保のため団員資格に市内の勤務者を加えようとするもの。

議員発議案

●タクシー事業の規制緩和の見直しを求める意見書の提出について

第8回臨時会

●国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書の提出について ●介護職員の待遇改善についての意見書の提出について 詳しくは、最終ページの「意見書」をご覧ください。

◆岩手県後期高齢者医療広域連合議員選挙が行われました。

第8回市議会臨時会は、去る5月14日に開かれ、市長提出議案5件について審議され、原案のとおり可決されました。

●平成19年度久慈市一般会計補正予算(専決第1号)の専決処分に関し承認を求めることについて 起債の借入額等に関する変更について行った専決処分は、承認されました。

●岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協

議の専決処分に関し承認を求めることについて 久慈市広域行政事務組合が久慈広域連合と統合したことに伴う専決処分は、承認されました。

●市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて 地方自治法の改正に伴い、国民健康保険税の被用者に対する激変緩和措置やふるさと納税に関する規定の改正について行った専決処分は、承認されました。

●平成20年度久慈市老人保健特別会計補正予算(第1号) 老人保健特別会計補正予算は、3970万4千円の繰上充用を行うもので、原案のとおり可決されました。

●平成20年度久慈市工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号) 工業団地造成事業特別会計補正予算は、1853万3千円の繰上充用を行うもので、原案のとおり可決されました。

委員会の審査から

6月20日に開かれた総務委員会では、次の議案が審査されました。

概要は次のとおりです。

●消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 本議案は、消防団員の資格要件を拡大し、もって消防団員の確保と市内事業所の防災に関する関心と理解を図るため、所要の改正をするもの。

【問】市における消防団員の人数及び充足率の実態はどのようになっているのか。

【答】消防団の定数860人に対し、団員数は6月20日現在803人であるので、充足率は93・3%である。

そのほか、市職員の消防団への加入促進、待遇改善、緊急災害時の対応や防災無線の利活用等について質疑が交わされ、採決の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

● 一般質問

政 和 会 下 館 祥 二 議員



カヤックに挑戦する教育旅行の生徒たち

【問】 子ども農山漁村交流プロジェクトの当市の取り組み状況は。

【答】 本事業は、農林水産省、文部科学省及び総務省が連携し、学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育み力強い子どもの成長を支える教育活動として、小学校における農山漁村での長期宿泊体験活動を推進するものである。当市でもこれまでの教育旅行の受け入れ実績を活かし受け入れモデル地域候補地として登録申請をしたところ

ある。しかし、選定の一指標とされた県内における本事業を実施する小学校が少なかったことから、全国50か所のモデル地域指定を受けられなかった。今後も国の方策を確認しながら、当市の情報発信に努め、教育旅行の受け入れと併せ積極的に取り組んでいきたい。

子ども農山漁村交流プロジェクトの取り組みは

● 市長 — 教育旅行の受け入れと併せて積極的に取り組みたい

「企業の森」の推進状況は

【問】 企業の森の推進に向けた当市の取り組みを示せ。

【答】 民間企業が社会的責任の一環として、資金提供や社員ボランティア派遣等を行い、民有林の植林や間伐などの森林整備を行うことは、活力あ

る山村形成に重要な役割を果たすものと期待し、当市では市有林を提供可能なフィールドとして県に登録している。また、私有林についても所有者の意向を踏まえ、森林組合等関係機関と連携を図りながら推進に努めたい。

【問】 やませ土風館完成後の既存商店街に対する二次的波及政策は。

【答】 これまでの累計では、40の事務事業の統廃合により約4000万円を削減し、職員は23人の削減となっている。加えて地域づくり講演会や市政懇談会の開催等を行ったところであり、市政改革プログラムは順調に実行されていると考える。今後も工程表に従って着実に実行していきたいと考えている。

【問】 やませ土風館完成後の既存商店街に対する二次的波及政策は。

【答】 中心市街地の活性化は、やませ土風館を核として、商店会等による各種ソフト面での取り組みと連動しながら中心市街地全体のにぎわいを創出しようとするものである。昨年、国の認定を受けた久慈市中心市街地活性化基本計画における、市が実施する本年度事業は、中心市街地にポ

各会派の関連質問

政 和 会

◆ 藤島 文男 議員

【問】 地域農村センターの施設整備について、大川目農村総合センター、山根生活改善センターのトイレの水洗化計画の検討結果はどのようになっているのか。

● 一般質問

清風会畑中勇吉議員

【問】 市内における要介護3以上の入所待機者数と入所待機者への対策は。

【答】 要介護3以上の入所待機者の状況は、昨年4月1日現在で192名であり、緊急性等にに応じてホームヘルプ等の居宅サービスが適切に行われるよう、地域包括支援センターを中心に介護支援専門員

また、特別便の発送者等を把握すべきと考えるが、市の今後の取り組み方は。

【答】 国保年金課への相談件数は726件。社会保険事務所からの情報提供依頼件数は、6月10日現在141件であり、すべてに回答している。社会保険事務所では、ねんきん特別便の久慈市全体の発

送者数は把握していないことから、詳細な情報提供を要望していききたい。

【問】 今回のパートタイム労働法の改正は正規雇用の拡大や待遇の改善等にねらいがあるが、現状をどのように認識しているのか。また、労働者の待遇改善と事業者への補助制度活用を図るため、相談会

ール等の水を防火用水として活用する考えは。

【答】 条件により変動するため把握が困難である。待浜地区の未利用貯水2施設は検討し、各プールの水は消防水利として活用に努める。

要介護3以上の入所待機者数は

● 市長 — 入所待機者は192名

による支援や、家庭介護用品支給事業などを実施している。

詳細な情報提供を

社保に要望

【問】 ねんきん特別便の相談件数及び社会保険事務所から納付状況に関する当市への情報提供依頼件数と回答状況は。



地域包括支援センター（元気の泉）

等を開催すべきでは。

【答】 市内の雇用労働者数は、1万4072名であり、そのうち臨時雇用者は、472名となっている。今後は岩手労働局と連携を図り、パートタイム労働法の周知に努めたい。

【問】 各給水区域で同時使用可能な消火栓数の把握状況と、未利用貯水施設や地区プ

【問】 地上デジタル放送に関する市全域の受信状況調査結果の報告時期と共同受信施設改修への補助及び市の支援策は。また、前年度の調査で受信不良の地区について、中継局が開局後に再度調査を実施するののか。

【答】 共同受信施設の受信状況調査のほか戸別の受信調査も予定しており、年内に結果が報告される。国は有線共聴の場合、共同受信施設のデジタル化改修費に対し、一世代あたり3万5千円を控除した額の2分の1を補助するとしている。市としては、総合的に支援策を検討していきたい。19年度の調査で受信不良であった山根の2地区は20年度も調査を行う。

【答】 地域農村センターのくみ取り式トイレは、利用者の快適性や安全かつ衛生面のみならず環境保全の立場からも整備の必要性は認識している。水洗化には相当の費用を要するため、優先度、緊急度を勘案しながら計画化に向けて検討したい。

◆ 砂川 利男 議員

【問】 陸中海岸を世界自然遺産に登録する運動を、市を挙げて取り組むことについての考え方は。

【答】 世界自然遺産登録された場合のメリットやデメリットについて検討する必要がある。行政としては、予備的な調査は可能であるが、主導的立場になるべきではなく、先導的な市民からの盛り上がりが必要であると考えている。

◆ 佐々木栄幸 議員

【問】 本年7月1日からの障害福祉サービス利用者負担の変更内容は。

【答】 国の緊急措置に基づき障害者が利用する居宅、通所

● 一般質問

日本共産党久慈市議員

城内 仲悦 議員



改修中の住宅

【問】 木造住宅耐震診断結果では、79%が倒壊の可能性があるとされている。緊急な対応が必要と思うが、改修助成事業の実施時期はいつか。

【答】 耐震改修の支援策として助成事業創設のため今議会に補正予算を提案した。

内容は、昭和56年以前に着工した耐震診断結果の判定値が1・0以下の木造住宅を対象とし、工事等経費の2分の1以内で、60万円を限度として助成するものである。

【問】 当市在住外国人のため

に「ガイドブック」を作成し、生活支援をしてはどうか。

【答】 市では、広域管内の外国人を対象に生活支援等の窓口として移動外国人相談や料理指導交流等を実施している。

ガイドブックの作成については今後検討したい。

【問】 妊産婦健康審査の公費負担実施回数を、国の指導もあり今年度、2回から5回に

住宅の耐震改修助成事業の実施時期は

● 市長 — 助成事業創設のため補正予算を計上

と見込んでいる。

後期高齢者にも人間ドック助成を

【問】 今年度から75歳以上の方が人間ドック助成事業の実施対象外となった。対象にすべきと思うが考えを寄せ。

【答】 75歳以上の高齢者は市が実施する人間ドック助成の対象者ではなくなった。

ユースが流れた。学校施設の耐震化促進について、国も補助事業の内容を充実させるとしている。すみやかに耐震化率を100%にすべきだが、その計画を示せ。

【答】 小中学校の耐震化計画について、平成19年度末で耐震診断率は65・3%、耐震化率は71・1%である。6月11日に改正地震防災対策特別措置法が成立したので詳細を把

増やしたが、理想の健診回数

は何回か。県内最高の14回の健診を実施する場合、予算はいくら必要となるのか。

【答】 妊産婦健診は14回程度が望ましいとされている。それを実施するとすれば増加分の所要額は1300万円程度

国は制度の見直しをしていることから、その動向を見据え検討していきたい。

【問】 先の中国の地震災害で

は学校施設がほぼ全壊したと報道され、6月14日の岩手・宮城内陸地震では多くの学校でひび割れが生じたという二

【その他の質問項目】 市内大手建設会社の破産申立てによる影響／市民バスの運行改善／地球温暖化対策／耕作放棄地の解消策 他

サービスについて、低所得者世帯を中心に、さらなる利用者負担の軽減を図るものである。さらに障害者の所得区分の認定に係る世帯範囲を、世帯全員から障害者本人及び配偶者のみの所得等の状況で判断するものである。また、障害児に係る利用者負担の軽減として、軽減対象となる世帯を拡充し、月額負担上限額を引き下げるものである。

◆ 桑田 鉄男 議員

【問】 テレビの難視聴対策について、今の共聴施設の改修等をする場合、市として具体的にどのような支援策(補助)ができるかと考えているか。

【答】 共同受信施設組合等が行う受信施設改修への市のかさ上げ補助金についての考え方は、今後検討していかなければならない課題と捉えている。

◆ 濱欠 明宏 議員

【問】 下水道本管が埋設されている地域に水道管が敷設されていないことにより、水洗

【問】 国道45号宇部地区歩道整備工事の進捗状況と通称野田峠の登坂車線整備計画の見通しは。

【答】 三陸国道事務所によると、平成19年度までに全体計画延長1750mのうち、約1670mが整備済みで、進捗率は約95%となっており、

今年度が事業最終年度と聞いている。また、通称野田峠の登坂車線の整備計画は、宇部町側に約1000mの設置を計画しており、今年度は用地を取得し、その後工事を進めたいと聞いている。市としても早期整備が図られるよう引き続き要望していきたい。

船等への新增設支援や中小企業への融資。観光産業では「しらかばの湯」のオープン等。また、農林水産業ではハウレンソウと菌床シイタケによる営農類型実証、アカマツ販売戦略の策定、ナマコ種育苗成と放流実証等が挙げられる。今後は計画や戦略をより具

体験館を設けている。特にも久慈秋まつりに関する展示は、当施設の目玉として多くの観光客から好評をいただいていることから、今年の前夜祭は、会場をやませ土風館を中心として開催することで、久慈秋まつり検討委員会や山車運行部会からの意見を聞きながら、実現に向けて取り組んでいるところである。

【問】 学校再編住民懇談会で出された意見の内容は。

【答】 学校再編に関わる住民懇談会では、統合に賛成する意見として、子どもの教育環境の充実のため早期の統合を望むという、主に保護者からの意見。反対する意見としては、学校は地域のシンボルであり、廃校になると地域がさびれるというもの。また、小規模校教育の優位性を説く意見があった。その他、通学手段の確保、建物・土地の利用計画、統合予定校との交流事業の充実等について、質問・意見等があった。

「国道45号宇部歩道」は今年度で完成するのか

●市長 — 今年度完成見込みと聞いている

【問】 県北沿岸振興策の主な成果と市が考える重点事業は。

【答】 県では、平成18年11月策定の「県北沿岸圏域における産業振興の基本方向」に基づき、県北沿岸振興に取り組んでおり、本年4月に平成19年度の実績が公表された。

分野別の主な成果は食産業ではシメサバ等の販路拡大。ものづくり産業では北日本造

体化するため、各分野において、要望事項の実現や数値の向上が図られるよう県と共に取り組んでいきたい。

【問】 秋まつり前夜祭の開催会場は。

【答】 やませ土風館は、広域観光の拠点として広く地域の観光、歴史、文化のPRを行うため観光コーナーのほか、山車展示コーナー、山車創作

化ができない地域があるがその対応策は。



早期整備が待たれる宇部歩道

◆大沢 俊光 議員

【問】 中心市街地の活性化について、「やませ土風館」完成後の既存周辺商店街に対する二次的波及効果をあげるための具体的な行政の支援の考え方は。

【答】 中心市街地の活性化は周辺商店街ににぎわいが創出されなければならず、市として実施しなければならぬ空間整備事業と商店会の方々に取り組んでもらうソフト事業「まちづくり回遊ルート」との

【問】市道久慈川線（堤防）を1・5車線化での整備を。

【答】交通混雑の解消や安全対策として1・5車線化は有効な手法。堤防を占用した市道であり、今後、河川管理者である岩手県と可能性について協議し、検討したい。

【問】ふるさと納税制度を活用した当市への寄附協力依頼に積極的に取り組むべきでは。



交通量も多く、危険な市道久慈川線

市道久慈川線の1・5車線化を

●市長―県と協議、検討してみたい

【答】この6月に副市長を会長とした「ふるさと納税推進会議」を設置し、周知の方策、全庁的役割分担を決定した。

当面、市内外での同窓会、ふるさと会等でのパンフレット配布や市のホームページ等で周知を図りたい。寄附金の使途は、寄附者の意図を反映させるよう工夫したい。

この制度に対しての市長の考え方は。

【答】多くの問い合わせがあり、その主な内容は、被保険者証や保険料の算定に関するものである。本制度に対する考え方は、75歳以上の高齢者等の医療を国民みんなで支える仕組みであり、将来の高齢者にかかる医療費の増大を見据え、世代間の費用負担の明確化を図るなど安定的で持続可能な制度だと認識している。

【問】なかなか進まない「いわて森のトレー裁判」の状況と今後の見通しは。

【答】これまで2回の口頭弁論が実施され、3回目に向け、17回目の弁論手続きが7月に行われる。今後については、見通せる状況にない。

【その他の質問項目】

市町村合併／振興局再編／広報公聴の成果／市民バス運行の成果と課題／雇用対策／企業誘致／観光客誘致対策／久慈小学校改築計画 他

両面に取り組んでいくことが核施設のみならず、周辺商店街の活性化にもつながることから商工会議所や商店会と行政が一体となって各種事業を推進していく考えである。

清風会

◆堀崎 松男 議員

【問】民地にある農村環境改善センタープールの排水路整備へ向けた考えを示せ。

【答】農村環境改善センタープールの排水は夏井土地改良区が管理する排水路を経由して排水されていることから、夏井土地改良区に対して、農地・水・環境保全向上対策事業等を活用した改善について、働きかけて行きたいと考えている。

◆八重櫻友夫 議員

【問】市道深田線の橋梁について、大雨災害等の対応は十分なのか。

【答】現在の整備内容は道路の改良工事と全体の舗装となっており、橋梁については、

整備計画の中に含まれていないが今後検討したい。

◆高屋敷英則 議員

【問】県立久慈病院の産婦人科の医師確保対策について示せ。

【答】今後とも県立久慈病院の産婦人科の医師の体制は、複数の体制を確保していきたいことから、市においても関係機関への要望等を行い、望ましい医療体制の整備に努めて行きたいと考えている。

日本共産党久慈市議団

◆小野寺勝也 議員

【問】六ヶ所村再処理工場の直下に活断層が存在するのではないかとの報道があったが、再処理工場の本格操業の中止を政府及び日本原燃に求めるべきと思うが考えを示せ。

【答】六ヶ所村再処理工場内に活断層が存在する可能性について、国の原子力安全・保安院は現地調査を行い現在、その妥当性を確認しているところである。その結果を

一般質問

民主 党 小倉建一 議員

一般質問

社会民主党

梶谷武由 議員

今のところ考えていない。

【問】 久慈地区のテレビ中継局の位置変更により、新たに発生する難視聴地域の調査は誰が行うか、低所得世帯へのテレビ等購入費の助成は。

【答】 難視聴に関する対策は、放送事業者で行うことになっているが、市独自に今年度調査を行う。建物の影になることでの受信障害は当事者間で

振興局の存続に 取り組む考えは

【問】 県は2010年度から

4つの広域振興局にし、久慈と二戸を一緒にする考えだ。市長は広域圏内のリーダーとなって久慈地方振興局存続に

テレビのアナログ波停止に伴う対応は

● 市長 — 市独自に難視聴予想個所の調査を行う

解決することになっているが

情報提供をしていく。低所得者世帯への支援については、

向けて取り組むべきでは。

【答】 この地域にこそ広域振興局が配置されるべきと考え

るが、二戸との引っ張り合いになってはいけない。県の具体的意向をただしながら、久慈広域町村や関係団体とともに対応していく。

【問】 山のきぶどうを使ったお酒や観光物産



8月に開局する久慈中継局 (半崎)

協会が開発した冷麺、サケちくわなどの新規開発商品の販売支援対策は。

【答】 新商品の開発については補助金の活用を通じ支援を行ってきた。これら新商品の販路拡大についても重要な取り組みとして認識している。

国・県、財団法人などの支援制度等の情報を提供していく。

【問】 障害者はもちろん高齢者の多くの方々が市庁舎へのエレベーター設置を望んでいる。設置の考えとエレベーターの耐用年数、市庁舎の今後の使用予定は。

【答】 必要な設備ではあるが、多額の費用がかかることから設置は困難と考えている。エレベーターの減価償却資産の耐用年数は17年で、市庁舎は昭和49年建築、耐用年数は50年となっていることから当然使用できると考えている。

【その他の質問項目】
ふるさと納税／市民バス運行／年金特別便／市道整備／学校再編／図書費／教材費

受け、今後の対応について、検討していきたいと考えている。

新政会

◆ 上山 昭彦 議員

【問】 市道上長内日吉町線の歩道の代わりとして拡幅した路側帯の簡易舗装はできないか。

【答】 未舗装の路側帯部分の歩道の現状を確認し、方策を検討したい。

◆ 泉川 博明 議員

【問】 久慈港半崎地区の港内静穏度向上対策が必要と思うが考えを示せ。

【答】 国土交通省においても、半崎地区の静穏度対策は喫緊の課題であるとの認識を持っており、改善に向けて具体的な検討を行っている状況にあると聞いている。

◆ 木ノ下祐治 議員

【問】 ローマ字を使った市民バスの名称をお年寄りにもわかりやすい名称に変えるべき

では。また、バスの行き先の表示をわかりやすくすべきではない。

【答】 市民バスの名称は、公募により決定したものであり、制定後間もないことから馴染みが少ないということもあると思うが、継続することにより認知度を高めていきたいので、名称変更の考えは持っていない。

また、行き先のわかりやすい表示方法については、十分に検討を重ねていきたい。

◆ 中平 浩志 議員

【問】 防災対策について、地震により道路が寸断された場合に孤立集落に対する物資等の搬送はどのような方法で行うのか。

また、電話による通信ができなくなったときの通信手段は、どのような方策が考えられるのか。

【答】 道路等が寸断し、通行ができなくなった場合は、防災ヘリコプター等による救済物資の搬送となる。

通信手段については、阪神淡路大震災で一番活躍したの

● 一般質問

公明党 山口健一 議員

【問】 介護従事者の待遇改善が強く求められているが、当市の現状と待遇改善についての考えは。

【答】 本市においても介護サービス利用者が毎年増加しており、増加する福祉介護ニーズに対応するための人材確保が必要である。そのためには介護労働者の待遇改善や地位の向上が必要と認識してお



養寿荘で指導を行う介護福祉士

介護従事者の待遇改善策は

● 市長 — 経営努力を重ねながらも検討を加えているか。

り、地方の特殊性を考慮した適正な介護報酬の認定等について、国に要望していききたい。

ているか。

【問】 ふるさと納税について、目的別ごとに寄附を募りそれを財源に政策を実行する寄附条例の導入の基本的考え方は。また、寄附者の意向を反映させる方法はどのように考え

【答】 ふるさと納税によりどの程度の寄附が見込めるのか不明であることから、寄附条例の導入については考えていない。寄附者の意向を反映させる方法として、寄附の用途区分を人材育成の推進、産業振興、福祉の充実、環境の保全、地域活動の支援及び市に

委任の6種類を設定している。

【問】 地球温暖化対策のため7月7日をクールアース・デーとして取り組み、様々な施策を進めるべきと思うが。

【答】 首相は洞爺湖サミット開催日の7月7日をクールアース・デーと定め、一斉消灯など低炭素社会実現のため国民みんなで確認する様々な取り組みを行う日としたい旨表明したと認識している。当市の地球温暖化対策としては6月21日から7月7日までとして100万人のキャンドルナイトinくじを開催するほか、市内全域にライトダウンを広く呼びかけていきたい。

【問】 国では地方の公営住宅の整備基準とあわせ入居資格要件も緩和し、地方の裁量にまかせるとしているが市営住宅建設の基本的考え方は。

【答】 国では本年度中に関係省令を改正する方針と聞いており、今後の建設にあたっては、この新たな基準を進めていきたいと考えている。

が消防団の防災無線だと聞いていてのことから、その活用が必要であると捉えている。

◆中塚 佳男 議員

【問】 都市計画区域内の農地転用手続きは、簡略化できないのか。

【答】 農地を農地以外の用途に利用する場合は、農地法の規定による農地転用の手続きが必要となり、申請に基づいて農業委員会の審査意見と県農業会議の意見をもとに、4ha以下は県が許可することになっていることから、簡素化はできないものと考えている。

◆清水 崇文 議員

【問】 やませ土風館の運営上の問題として、駐車場が狭いのではないかと。また、その対策は。

【答】 県立病院跡地を駐車場としているほか、イベント時には市役所をはじめ各施設を臨時駐車場として活用するとともに、街なか連携観光協議会によるシャトルタクシーの無料運行も試行して対応して

いる。

また、今年度県立病院跡地を整備することから駐車場の問題は緩和されるものと考えている。

クール・ビズ

市議会では、6月から9月までの本会議等での服装について、クール・ビズ（軽装を実施することに決定しました。原則ノーネクタイとします）ので、ご理解いただきますようお願いいたします。



クールビズで行われた議会の様子

意見書

タクシー事業の規制緩和の見直しを求める意見書ほか2件

内閣総理大臣、衆議院議長等へ提出

6月定例会では、市民からの
請願を受け議員発議による次の
意見書を可決し、政府関係機関
等に提出しました。

■タクシー事業の規制緩和の見直しを求める意見書

〔概要〕 平成14年2月の規制緩和により、全国各地において新規参入事業者や大幅な車両の増加、また供給過剰の進展のなか、運賃・料金の価格競争、違法駐車など、数多くの諸問題が生じており、今後ともタクシー事業が、安全・安心、かつ快適な公共性の高い交通機関として確

保していくため、早急な是正が必要となっている。
よって、国においては具体的対策を講じられるよう要請する。

■国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書

〔概要〕 国は、森林吸収源対策を着実に推進するため、環境税等、税制上の措置を含め、安定的な財源を確保するとともに、林業・木材産業の振興施策と森林所有者の森林経営意欲の創出に向け負担軽減の措置を行うこ

と。

木材のバイオマス利用等の促進等により、間伐材を含む地域材の需要拡大の推進など、地域林業・木材産業の振興を図り、国の関与のもとでの森林整備制度を創設すること。

また、国有林の適正な管理と管理運営体制を堅持し、その管理運営を通じて、地域における森林・林業担い手を育成し、もって地域の活性化に寄与することなどの実現を強く要請する。

■介護職員の待遇改善についての意見書

〔概要〕 介護報酬の改定などにより老人保健施設を取り巻く環境は厳しくなっており、すでに事業所単位での介護職員の適切な給与等の確保が困難な状況におかれている。

また、現行の介護職員等の給与水準は、介護現場で期待される仕事内容には見合わず、他産業と比較して低水準にあることから、有資格でありながら転職する事例が多くみられ、介護職員の確保が急務となっている。

よって、国においては、安定的な介護保険制度の維持発展に向け、介護職員の待遇改善について、強く要望する。

編集後記

議会広報編集特別委員会

委員 桑田鉄男

6月14日の岩手・宮城内陸地震及び7月24日に発生しました岩手県沿岸北部の地震により被災されました皆様にご心からお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を祈りたいと思います。

今年は、北京オリンピックの年でもありますし、夏といえば何といつても高校野球。今年は90回の記念大会とのこと、岩手の高校球児の活躍を期待します。

6月定例会市議会は、宮澤憲司新議長のもとで、6月13日から24日まで開かれました。一般質問には、会派を代表して4人、個人で3人の議員が登壇し、地方振興局再編、市民バス運行、市内小中学校の再編等市政の諸課題について活発な議論が交わされたところであります。

暑さの真っ最中ですが元気に乗りきりたいものです。

市議会を傍聴して

中川 久さん

久慈市寺里



日頃から機会があれば市議会を傍聴してみたいという思いから今回、午前中だけでしたが6月18日と19日の二日間
に渡り、議会を傍聴させていただきました。

傍聴席からひとこと

各議員が行った質問の項目数は、9問から22問と、広範囲に渡って質問が行われていました。感想としては、広く浅いという印象を受けました。

2日間で7人の議員から行われた一般質問のうち6議員の質問項目に同じ項目が見受けられました。質問の趣旨がそれぞれ違っているからかもしれないませんが、事前に質問の内容が報告されているのであれば、時間が有効に利用できるように調整できないものではないでしょうか。

一人の議員の質問時間が質問と答弁を含めた時間配分になっていくようでしたが、質問者が十分に質問できるように、質問と答弁の時間は区分して配分すればすっきりすると思えました。

また、傍聴席から全議員が見えるような傍聴席になっていれども思いました。

国と地方を問わず諸問題が山積している中、地方行政こそが社会の主体をなすことから、問題解決のため議会を挙げてのご健闘をお願いいたします。